



2020年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

2020年2月4日

上場会社名 株式会社クロップス 上場取引所 東・名
 コード番号 9428 URL https://www.crops.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 伊知郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部担当 (氏名) 後藤 久輝 TEL 052-588-5640
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,890	5.7	1,473	50.9	1,556	61.2	559	22.5
2019年3月期第3四半期	30,181	10.5	976	24.1	965	20.2	456	10.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 792百万円 (30.2%) 2019年3月期第3四半期 608百万円 (8.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	58.33	-
2019年3月期第3四半期	47.60	46.48

(注) 2020年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,149	9,126	31.3
2019年3月期	22,448	8,454	31.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,554百万円 2019年3月期 7,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2020年3月期	-	0.00	-		
2020年3月期 (予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正につきましては、本日 (2020年2月4日) 公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,123	2.7	1,780	35.3	1,872	42.2	527	△9.0	54.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2020年2月4日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.6「四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	9,597,400株	2019年3月期	9,597,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	485株	2019年3月期	485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	9,596,915株	2019年3月期3Q	9,596,915株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

「2020年3月期第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	7

四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,701	5,331
受取手形及び売掛金	3,951	3,610
商品	2,674	2,083
販売用不動産	533	364
仕掛販売用不動産	105	299
その他	1,053	1,045
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	12,019	12,732
固定資産		
有形固定資産	3,415	3,360
無形固定資産	476	327
投資その他の資産		
差入保証金	4,797	5,403
その他	1,739	2,326
投資その他の資産合計	6,537	7,729
固定資産合計	10,429	11,417
資産合計	22,448	24,149

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,401	2,239
短期借入金	2,350	2,050
1年内返済予定の長期借入金	283	330
未払法人税等	326	250
賞与引当金	211	262
その他	2,517	2,612
流動負債合計	8,091	7,746
固定負債		
長期借入金	488	1,030
役員退職慰労引当金	5	5
退職給付に係る負債	203	199
長期預り保証金	4,750	5,415
その他	453	626
固定負債合計	5,902	7,276
負債合計	13,994	15,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	255	255
資本剰余金	1,471	1,471
利益剰余金	5,206	5,622
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,932	7,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	205
その他の包括利益累計額合計	239	205
非支配株主持分	1,282	1,572
純資産合計	8,454	9,126
負債純資産合計	22,448	24,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	30,181	31,890
売上原価	23,941	24,966
売上総利益	6,239	6,923
販売費及び一般管理費	5,263	5,450
営業利益	976	1,473
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	19
違約金収入	12	25
保険解約返戻金	0	25
その他	21	28
営業外収益合計	51	99
営業外費用		
支払利息	10	8
支払補償費	0	6
上場関連費用	34	—
為替差損	14	—
その他	2	0
営業外費用合計	62	15
経常利益	965	1,556
特別利益		
固定資産売却益	—	7
債務免除益	58	—
特別利益合計	58	7
特別損失		
減損損失	—	224
固定資産除売却損	18	2
投資有価証券評価損	50	—
訴訟和解金	20	—
特別損失合計	89	227
税金等調整前四半期純利益	934	1,336
法人税等	320	510
四半期純利益	614	826
非支配株主に帰属する四半期純利益	157	266
親会社株主に帰属する四半期純利益	456	559

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	614	826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△33
その他の包括利益合計	△5	△33
四半期包括利益	608	792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451	526
非支配株主に係る四半期包括利益	157	266

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、携帯端末の販売及びその附帯サービス全般を提供する「移動体通信事業」、人材派遣・業務請負等を提供する「人材派遣事業」、清掃・設備管理・施設警備等を提供する「ビルメンテナンス事業」、店舗の転貸借、開店・閉店支援サービス等を提供する「店舗転貸借事業」、店舗不動産の仕入販売や建築販売を提供する「不動産売買事業」、輸入文具、包装資材、自然化粧品の企画・卸売販売等を提供する「卸事業」の6つを報告セグメントとしております。

当社は、卸事業を拡大する目的で第1四半期連結会計期間に株式会社七つの海の株式を取得し、連結孫会社としております。この結果、文具包装資材以外の商材を取り扱うこととなったため、セグメント名称を「文具包装資材卸事業」から「卸事業」へ変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	移動体通信事業	人材派遣事業	ビルメンテナンス事業	店舗転貸借事業	不動産売買事業	卸事業
売上高						
外部顧客への売上高	12,708	1,938	4,120	5,969	77	5,368
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	138	1	—	—	—
計	12,708	2,076	4,121	5,969	77	5,368
セグメント利益又は損失(△)	153	74	207	542	9	14

	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高			
外部顧客への売上高	30,181	—	30,181
セグメント間の内部売上高又は振替高	140	△140	—
計	30,321	△140	30,181
セグメント利益又は損失(△)	1,002	△25	976

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去6百万円、のれん償却額△32百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	店舗転貸 借事業	不動産売買事 業	卸事業
売上高						
外部顧客への売上高	11,857	1,959	4,138	6,896	535	6,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	121	1	—	—	—
計	11,857	2,081	4,140	6,896	535	6,502
セグメント利益又は損失(△)	435	67	226	451	214	122

	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高			
外部顧客への売上高	31,890	—	31,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	123	△123	—
計	32,013	△123	31,890
セグメント利益又は損失(△)	1,517	△44	1,473

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去5百万円、子会社株式の取得関連費用△50百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当第3四半期連結会計期間より「その他」として表示しておりました事業につきまして、量的な重要性が増したため、「不動産売買事業」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「卸事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を224百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「卸事業」セグメントにおいて、減損損失を計上したため、のれんが減少しております。